



短艇競技



令和6年12月7日

12月7日（土）に班対抗の短艇競技が行われました。競技は1800mのタイムトライアル方式で行われます。



競技開始直前、各チームかけ声（雄叫び？）
を上げて気合は十分です。



スタート位置に付くため短艇に乗り込み、出港
していきます。訓練の成果か手慣れたものです。



目線をくれる余裕さえ見せてくれました(笑)



各艇スタート位置まで進出が完了したようです。潮流や風の影響で艇が動いてしまうので前後の位置を調整し、全ての艇がスタートラインを超えない位置になったら、いよいよスタートです。

左の写真に写っている赤い旗を振り降ろし、併せて拡声器のサイレンとトランシーバーを使いスタートの合図をします。



競技スタートです。





↑ 分かりにくいですが、折り返しポイントでの回頭の様子です。

旋回径を小さくして早く回頭を終えるために、内側になる舷の櫂は上げて外側が超頑張って漕ぎます。





回頭が終了した時点では 1 位の艇と 2 位の艇の差はほとんどありません。この時点でかなりしんどいと思いますが、あと残り半分の 9 0 0 m をいかに頑張れるかが勝敗を分けます。





レースも終盤、段々と艇が近づいてきました。ゴール地点では、ご来場された学生のご家族の皆さんも勝負の行方を見守られていました。



見事 1 位でゴールしたのは. . .

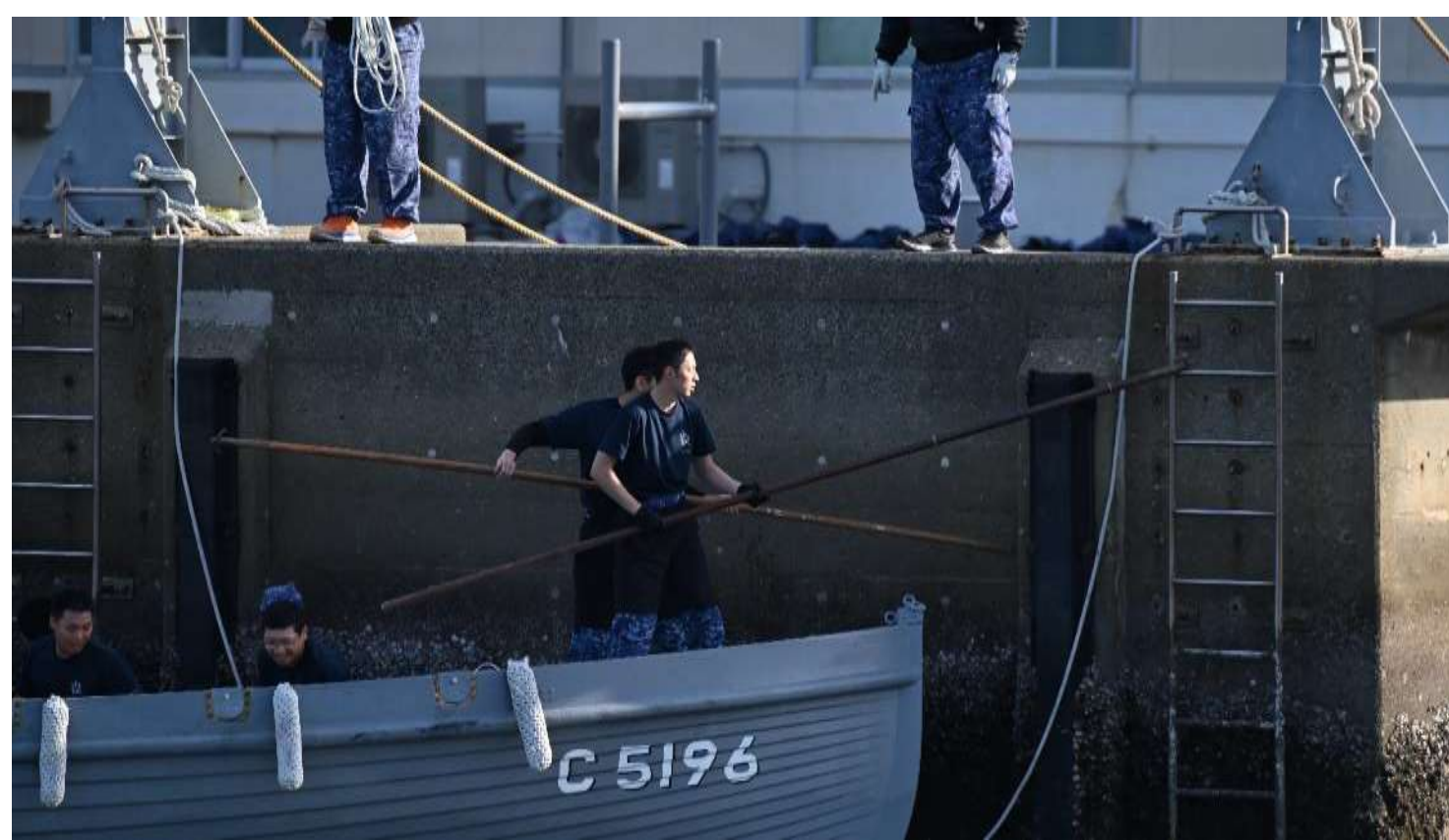


2班チームでした。おめでとうございます！
競技であるため、順位はついてしまいましたが、どのチームも力を出し切りました。



レースに勝ったチームは「櫂立て」をして勝どきを上げます。

「櫂立て」とは、艇長の号令で一斉に櫂(オール)を垂直に立てる行為で、本来は短艇における敬礼としての意味を持っています。また、「万歳！」の意味もあるらしいです。



レースを終え、各艇が戻ってきました。入港時の動作も当初と比べ危なげなくスムーズです。訓練の賜物ですね。



表彰式



優勝チームにはその栄誉を称え、トロフィーとメダルが授与されました。







どのチームもみんなで頑張ったから、一人では出せない力が出せたと思います。レース後の笑顔が印象的でした。皆さんお疲れ様でした！